

「福岡コロナ特別警報」の発動と政府への緊急事態措置適用の要請を受けて  
～夏休み中の子どもや子育てのセーフティネットは機能させます～

福岡県は5日、新型コロナウイルスの急速な感染拡大を受け、県独自の「福岡コロナ警報」を「特別警報」に引き上げたうえで、政府に対して福岡県に緊急事態措置を適用するよう要請しました。福岡県では新たな陽性者の確認が4、5両日とも700人を超え、過去最多を更新しています。古賀市内でもクラスターが発生するなど感染が拡大しており、私たち一人一人が強い危機感を持って行動していかなければなりません。

特別警報の発動を受け、古賀市として対策本部を開催。すぐにでも緊急事態宣言の対象となるべき厳しい局面であることを前提として今後の対応方針を決定しました。

古賀市は三連休が始まる8月7日から8月31日まで、公共施設を原則として閉館し、貸出を中止します。一方、夏休み中の子どもたちの居場所を確保する観点から、児童センター・児童館は感染防止策を強化して開館し、機能を維持します。乳幼児と保護者の居場所である「つどいの広場『でんでんむし』」も開き続けます。保育所・幼稚園、学童保育所を開所し、市役所全体の相談支援業務も継続します。社会が閉鎖的な傾向にある中だからこそ、子どもや子育て家庭に生じやすいリスクの潜在化を回避します。

市主催行事については、公共施設を原則閉館とすることから中止や延期をせざるを得ないものがありますが、開催の可否は行事ごとに個別具体的に判断することとし、オンラインの活用など感染防止策が講じられるものは開催します。最低限の健康維持の観点から公園の散策などはできますが、古賀グリーンパークの大型遊具の利用は禁止します。

新型コロナワクチン接種は65歳以上の高齢者が一段落し、本日から30歳代まで予約受付を広げています。8月20日に12歳～29歳の受付を開始する予定です。政府が目標とする10～11月の希望者の接種完了に向け、着実に取り組んでいきます。

そして、感染した方やそのご家族、医療従事者への差別や偏見を許さないという姿勢を堅持しましょう。これからもシトラスリボン運動でやさしさの輪を広げていきます。

市民の皆さまには再びの厳しい内容となりますが、自分と大切な人の命を守るため、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。共に頑張ってください！

令和3年8月5日  
古賀市長 田辺一城